

社会学科 4年次ガイダンス（卒業研究）

【2012年度以降入学者】（『履修要項』92頁～）

1) 研究課題と指導教員

- (1) 卒業研究は、各学科から4つずつ提示された課題（計12課題）のうち、「卒業研究1」は春学期に2つ、「卒業研究2」は秋学期に他の2つの課題について研究を進め、レポートの作成などの課題を達成して合格することで2単位ずつを修得する。
- (2) 課題の選択において、自学科からの課題が「卒業研究1」「卒業研究2」それぞれに1課題以上含まれていなければならない。
- (3) 卒業研究を選択する者は、3年次の1月に、「卒業研究1」で研究を希望する2課題、「卒業研究2」で研究を希望する2課題を記載した申請書を提出する。この希望をもとに、各学科・学部がそれぞれの学生について「卒業研究1」「卒業研究2」の研究課題を確定し、履修登録を行う。
- (4) 課題レポートの作成を指導する教員は、各学科・学部が決定する。

2) 履修規定

- (1) 在学7学期以降の学生のみ「卒業研究1・2」の履修が認められる。
- (2) 「卒業研究1・2」の同時履修はできない。ただし、3年次在学留学生については、特例措置を講じることがある。これについては、アカデミック・アドバイザーに事前に相談すること。
- (3) 春学期開講の「卒業研究1」が不合格（単位未修得）または春学期に「卒業研究1」を履修していない場合には、秋学期に「卒業研究2」の単位を修得し、次年度春学期に「卒業研究1」を履修することとなる。
- (4) 春学期開講の「卒業研究1」の単位は修得したが、秋学期開講の「卒業研究2」が不合格（単位未修得）の場合、または「卒業研究2」を履修していない場合には、申請することにより次年度春学期に「卒業研究2」を開講することがある。
- (5) 秋学期開講の「卒業研究2」の単位は修得したが、春学期開講の「卒業研究1」が不合格（単位未修得）の場合、または「卒業研究1」を履修していない場合には、申請することにより秋学期に「卒業研究1」を開講することがある。
- (6) (4)(5)については、指導教員のサインおよび捺印を得た上で、申請期限までに「履修希望届」（教務事務センター履修・成績窓口で配布）を教務事務センター履修・成績窓口に提出すること。手続きの詳細は、2017年度『履修要項』にて指示する。

【2006～2011年度入学者】

1) 研究領域

- (1) 研究領域：「理論と方法」「自己と関係」「生活と人生」「公共性と政策」「構造と変動」の5領域のうち、「卒業研究1」は春学期に2つの領域、「卒業研究2」は秋学期に他の2つの領域について、それぞれ課題レポートを作成し、面接を受けることで2単位ずつ修得する。
- (2) 卒業研究を選択する者は、3年次の1月に、「卒業研究1」で研究を希望する2課題、「卒業研究2」で研究を希望する2課題を記載した申請書を提出する。この希望をもとに、社会学科がそれぞれの学生について「卒業研究1」「卒業研究2」の研究領域を確定し、履修登録を行う。

2) 履修規定

- (1) 在学7学期以降の学生のみ「卒業研究1・2」の履修が認められる。
 - (2) 「卒業研究1・2」の同時履修はできない。ただし、3年次在学留学者については、特例措置を講じることがある。これについては、アカデミック・アドバイザーに事前に相談すること。
 - (3) 「卒業研究1」を履修するためには、研究を進める2つの領域の「専門科目2(自由科目)」(2006～2009年度入学者の場合は「選択科目」。以下同様)からおのおの2単位以上、単位修得済みであることとする。「卒業研究2」についても、同様の規定とする。
 - ・申請書には各領域で修得済みの「専門科目2(自由科目)[2010・11年度入学生]／選択科目[2009年度以前入学生]」または修得予定の「専門科目2(自由科目)[2010・11年度入学生]／選択科目[2009年度以前入学生]」を記載すること。
 - ・3年次春学期までの成績通知表コピーを添付し、申請書に記載した修得済みの「専門科目2(自由科目)[2010・11年度入学生]／選択科目[2009年度以前入学生]」の科目名にマーカーで色をつけること。
- *成績は立教大学 Web サイトからダウンロード可能。「履修登録システム／成績参照システム」ページからログインすること。
- (4) 春学期開講の「卒業研究1」が不合格(単位未修得)または春学期に「卒業研究1」を履修していない場合には、秋学期に「卒業研究2」の単位を修得し、次年度春学期に「卒業研究1」を履修することとなる。
 - (5) 春学期開講の「卒業研究1」の単位は修得したが、秋学期開講の「卒業研究2」が不合格(単位未修得)の場合、または「卒業研究2」を履修していない場合には、申請することにより次年度春学期に「卒業研究2」を開講することがある。
 - *なお、その場合であっても春学期に出題されている課題を選択すること。
 - (6) 秋学期開講の「卒業研究2」の単位は修得したが、春学期開講の「卒業研究1」が不合格(単位未修得)の場合、または「卒業研究1」を履修していない場合には、申請することにより秋学期に「卒業研究1」を開講することがある。
 - *なお、その場合であっても秋学期に出題されている課題を選択すること。
- (7) (5)(6)については、指導教員のサインおよび捺印を得た上で、申請期限までに「履修希望届」(教務事務センター履修・成績窓口で配布)を教務事務センター履修・成績窓口に提出すること。手続きの詳細は、2017年度『履修要項』にて指示する。

3) 登録方法

- (1) 「卒業研究1・2」は大学が履修登録するので、科目コード登録は行わないこと。ただし、登録科目確認表で間違いなく登録されていることを確認すること。
- (2) 履修を許可された者は、その科目を取り消すことはできない。

4) 卒業研究スケジュール

2016年1月13日(水)～23日(土)12:30まで

「**研究希望課題申請書**」を教務事務センター レポートボックスに提出

*提出された希望は原則として変更できない。

2016年4月3日(月)4年次ガイダンスにて「卒業研究1」「卒業研究2」登録予定の確認、研究希望課題の申請(*1月に「**研究希望課題申請書**」が未提出の者)。

※ 申請書未提出の者には、学部が課題を指定する。

〃	4月7日(金)	学生ごとの研究課題発表(社会学部掲示板に掲示)
〃	5月22日(月)～26日(金)	「卒業研究1」課題レポート中間提出
〃	6月26日(月)～30日(金)	「卒業研究1」課題レポート提出
〃	7月上旬～中旬	「卒業研究1」口頭試問
〃	11月6日(月)～10日(金)	「卒業研究2」課題レポート中間提出
2017年	1月9日(火)～12日(金)	「卒業研究2」課題レポート提出
〃	1月中旬～試験期間終了日	「卒業研究2」口頭試問

5) 課題レポートの提出期間・場所

教務事務センターレポートボックス

*表紙の添付：教務事務センター所定の表紙を使用し、課題番号(社1、現2など)を明示する。

6) 課題レポートの形式

課題レポートは1課題につき4000字以上を量的な最低水準とする。

7) 授業

卒業研究1・卒業研究2ともに初回の授業(4月12日・水曜6限)は実施するので、必ず出席すること。それ以降は、申し出により卒研担当教員が個別指導をおこなう。

8) アカデミック・アドバイザー

「卒業研究」の担当教員がアカデミック・アドバイザーとなるが、2006～2011年度入学者の場合は、2課題とも他学科課題の履修者は学科長がアカデミック・アドバイザーとなる。

以上